SAITAMA JAPAN
RID 2770　2012-13
Peace Through Service

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

表紙の題字は牧内操研修リーダー

11グループ 総出でお招き！

●第5グループは、上尾・鴻巣・北本・桶川と、4市8クラブからなり、地区の一番北に位置します。今年から『上尾東』がなくなり、『上尾』を長男にした8人兄弟が、会員増強はもちろん女性会員の獲得にも力を入れています。

●8クラブ共50名以下ですが、どのクラブも楽しく意義のある活動をガンバっています。そして本年度は周年事業が多い年。この節目に各クラブは大きく飛翔します。各会長の個性で、楽しく豊かなロータリー活動なら第5グループです。（福士　満）

他に 栗原広孝（桶川）
他に 橋口康道（桶川イブニング）

2012.11
第5号

平成24年11月1日発行（毎月1回1日発行）　〒330-0063　さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116エイペックスタワー東館1階
国際ロータリー第2770地区　ガバナー事務所 TEL 048(827)0022　FAX 048(827)0011　E-mail：ri2770@ri2770.com
発行人／田中徳尚　編集／吉田英一　小林秋仁男

地区大会の幕が開く

11月17日（土）・18日（日）は、地区大会です。

場所は川口駅西口、駅直結のリリアです。
日本でいちばん駅から近い大ホールです。
本会議は1日だけ。18日 12時開会～午後 18時位迄。
昼食は出ないので食べて来てくださいネ。
いったいどのくらい来てくれるのだろうか？
今まではすぐ帰ってしまう方が多かったし…。
最初から最後までいてくれるか？　心配です。
登録料をいただいて地区大会をやるのなら、
喜んでいただきたい、残っていただきたい、
ホストの11グループは、切に思っています。
そのための仕掛けもいろいろ考えました。
突飛な地区大会になるのかなと思います。
失敗するのは困りますが、とにかく一度、
今までと違うコトもやってみよう！
これが本音です。面白がって見に来て下さい。
今年のガバナー方針は「出席から参加へ」です。
クラブ紹介は、本会議のいちばん最後にやります。
つづく懇親会では「お楽しみ大抽選会」も用意しました。

（ホストクラブ）川口RC　（コ・ホストクラブ）鳩ヶ谷RC、
川口・鳩ヶ谷武南RC、川口モーニングRC、川口南RC、川口東RC
川口シティ鳩ヶ谷RC

11月17日（土）

■地区指導者育成セミナー
9時30分 登録開始　10時 点鐘
11時50分 点鐘
（川口 リリア 音楽ホール）
●講師　ホシザキ電機（株）会長　坂本精志様
（名古屋名東RC）
●講師　RI研修リーダー　桑原 茂様
（第2520地区 パストガバナー）

■財団・米山 午餐会
12時20分 開会　13時20分 閉会
（川口 リリア 14階 銀座アスター）

■新世代・学友交流会＝発表会
13時40分 開会　16時50分 閉会
（川口 リリア 音楽ホール）

■RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
17時30分 登録開始　18時 開宴
20時 閉宴
（浦和 ロイヤルパインズホテル　ロイヤルクラウン）

地区指導者育成セミナーは、当初の予定より
30分早く開始になっております。

11月18日（日）

■地区大会本会議
11時30分　登録開始
12時 15分　RI会長代理入場
12時35分　点鐘
17時45分　点鐘
（川口 リリア メインホール）
●（記念講演）
輝いて生きる
ジュディ・オング氏

■同時開催
『友愛の広場』
（川口 リリア メインホールロビー）
11時30分～17時
各種展示や、東日本大震災復興
支援のための物産などが並びます。

■懇親会・抽選会
18時　開会
18時30分　大抽選会
18時50分　閉会
（川口 リリア 展示ホール）

11月、財団月間と地区大会を迎えて

ガバナー　田中 徳尚

皆様こんにちは。

冬の気配漂う11月となりました。早いものでガバナーに就任してから5ヶ月目です。皆様のご協力のもと公式訪問も順調に進んでおり、クラブごとに素晴らしいご歓迎を頂いております。特に日程調整に迅速なご対応を頂いたことでスムーズに進めることができました。公式訪問の為に準備を整えて下さっている各クラブの皆様、地区のスタッフの皆様に改めて感謝申し上げます。そして、これから伺うクラブの皆様、どうぞ宜しくお願いします。地区大会までには各クラブの皆様に田中作次RI会長のメッセージをお伝えすべく、全てのクラブを回りたいと考えております。

さて、公式訪問中にはベテランのロータリアンから今は亡き父・田中徳兵衛の思い出を語って頂く事もありました。父がガバナーを務めていた1985~86年度の地区テーマ「You are the key」にちなんだ懐かしいキーホルダーを頂きましたことは印象的です。

父が他界して7年近く経ちますが、父のロータリアンとしての功績を考えると、やはり「田中徳兵衛冠名基金」の設立ではないでしょうか。この基金は、母の友人のご子息が自閉症で苦労されていた事をきっかけにして、この分野で活躍できる日本人を育てようという目的のもとアジアで初めて設立され、今に至るまで6名の研究者を奨学生として送り出してきました。冠名基金の素晴らしい点は、その地位を世代間で継承できることであり、私も「田中徳兵衛・徳尚冠名基金」として寄付を継続しております。

財団への寄付は、大きく分けると「年次寄付」と「恒久基金」に分かれます。「年次寄付」は、3年後に半額がワールドファンドとして世界で使われ、半額が地区補助金として戻ってきます。一方、「恒久基金」は元本を使わずに運用収益が補助金として使われます。私たちも財団の補助金を使って地域や世界に良いことをしていきましょう。

今年はロータリー平和センター大口寄付推進計画委員会に津田健三パスト・ガバナーが委員として任命され、ロータリー平和センター冠名基金へのご協力を支援のための資金の確保に尽力される傍ら、ご自身も冠名ロータリー平和フェローシップ基金を設立されました。皆様にお願いしたいのは、ロータリー平和センター冠名基金へのご協力です。これは、2万5千ドル＝約二百万円で設立することができ、冠名基金として名前を付けることが可能です。例えば、お孫様のお誕生記念を祝ってその名を冠した基金や、会社の事業発展を祝って命名した基金など、嬉しいことを長く記憶に留めることもできます。是非ご協力下さい。

当地区におきまして今年度はロータリー財団・米山記念奨学会ともに素晴らしい成績が出ており、全国平均を大きく上回っています。これは第2770地区として誇り高きことであります。ご協力くださっているロータリアンの皆様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をお願いします。

日々我々は最も得意な分野で事業や専門職を営み職業奉仕を行っておりますが、それと同時に才能ある若者をロータリー財団や米山記念奨学会を通して支援しております。

ゲーテの言葉に「耳あるものは聞くべし 金ある者は使うべし」という名言があります。お金は使って意味があるものだということですが、なるほど、これは説得力のある賢い言葉ですね。

さて、今年の地区大会について皆様にご紹介をさせて頂きます。まずは大会1日目となります11月17日土曜日は、午前中に地区指導者育成セミナーを行います。

その後、ロータリー財団や米山記念奨学会のメジャードナーに対して午餐会を予定しております。同日午後には新世代（インターアクト、ローターアクト、ライラリアン、青少年交換留学生）、財団奨学生、米山奨学生の発表を行います。彼らの活躍を直接聞く事により、我々の支援がどのように実を結んでいるかお確かめ頂ければと思います。

つづいて11月18日日曜日には、元RI会長D.K.リー（李東建）氏を会長代理としてお迎えし、本会議を行います。

今回は新たな試みとして本会議は1日のみにしました。是非多くのロータリアンが川口総合文化センター・リリアにお越し頂き、有意義な大会となりますように準備を進めております。

皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げております。

奉仕を通じて平和を

今年度のテーマは、「奉仕を通じて平和を」と田中作次RI会長は述べておられます。

ロータリー財団月間の「財団情報最前線」

ロータリー財団部門委員長　植野正裕（戸田RC）

●ロータリー財団は1917年のアトランタ国際大会で、アーチ・C・クランフが「全世界的な規模で慈善、教育、社会奉仕の分野でよりよきことをしようと提唱し、ロータリー財団が創立されました。

●2007年の規定審議会の決議では、ロータリー財団の使命「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」が採択されました。

●その精神は、まもなく百周年を迎える今日に於かれても引き継がれております。

●「未来の夢計画」が推奨され、我が地区はもとより世界で百地区がパイロット地区として未来の夢計画に取り組み3年度目となりますが、世界のクラブはパイロット、ノンパイロット地区に拘らず世界中の発展途上国や貧困国に対して人道的支援、教育的支援に目を向けて活発に活動を行っております。

●ロータリー財団は、会員の皆様より寄付を頂く、頂いた寄付を運用するという2面を持っております。

◆寄付の種類

■使途指定寄付

［ポリオ・プラス］

資金の使途を特定して運用する寄付です。

■年次寄付

寄付の基礎であり、使い道を指定することなく寄付後3年間運用し、3年後に地区の年次寄付総額の50％が地区財団活動資金（DDF）として地区に還元され、残りの50％は国際財団活動資金（WF）に分けられます。

■恒久基金

恒久基金は、寄付された元金は使わず、投資に運用して得られた収益を地区財団活動資金に50％、国際財団活動資金に50％配分されて使われます。

◆寄付を頂く委員会

■ポリオ・プラス委員会

●ポリオ撲滅は、国際ロータリーのフラッグプログラムでもあります。

●1979年9月に、フィリピンで生後3ヶ月から36ヶ月の子供約六百万人に対して、5ヶ年計画でポリオ免疫活動を行ったのがポリオ撲滅活動の第一歩であります。

●1985年に国際ロータリー創立80周年に当たり「世界からポリオをなくそう」とポリオ撲滅活動を開始し、1988年の世界保健機構の世界総会で賛同を得たことにより、世界的活動に発展いたしました。

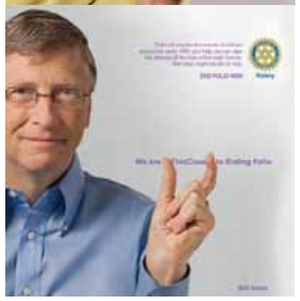
●2007年の規定審議会で、ポリオ撲滅を最優先事項とすることを承認、決議いたしました。

●2007年にビルアンドメリンダゲイツ財団がポリオ撲滅に1億ドルの支援を約束、ロータリアンも同額の1億ドルを集める条件に、「1億ドルチャレンジ」として、一人年30ドルを目標に募金活動を開始しました。

●翌2008年の国際大会で、ビル・ゲイツ氏よりさらに2億5千5百万ドルの追加支援の約束により、2012年6月迄に2億ドルを目標に「2億ドルチャレンジ」が再スタートしました。

●2億ドルチャレンジは、2012年1月16日に目標を達成しました。

●今年度は一人当り30ドル以上の寄付をお願いしております。



ポリオ撲滅運動の現況

国　　名	2010年	2011年	2012年7/3	最近の発症例
ナイジェリア	21	62	52	2012/6/5
アフガニスタン	25	80	10	2012/5/29
パキスタン	144	198	22	2012/5/22
インド	42	1	0	2011/1/13
野生株常在国計	232	341	84	
その他の国	1117	309	4	
合　　計	1349	650	88	

●ついにインドは常在国より除かれました。

●1985年当時、毎年30万人以上の発症例が報告されておりましたが、世界中でワクチン投与を実施することにより急激に発症例は減少し最近では上記の状況であります。

●ポリオ野生株の99%は撲滅されました。あと一歩のところまできておりますが、常在国3ヶ国では内戦や宗教上の問題等が山積みしており、撲滅までには今しばらく時間がかかることと思います。

●全ロータリアンで取り組んでいるプログラムでありますので、今後も会員の皆様のご協力をお願い致します。

■資金推進委員会

●ロータリー財団のプログラムを確実かつ、継続的に行なうための活動資金である、年次寄付および恒久基金寄付を会員の皆さまに懇請することが主な目的です。

●ロータリー財団の標語であります『世界で、よいことをしよう』を実行するために、皆様の理解、ご協力をお願い致します。

■寄付目標額

年次寄付一人当り 2百ドル
ポリオ・プラス一人当り 30ドル

■恒久基金寄付

○会員50名未満のクラブ
　ベネファクター 1名
○会員50名以上のクラブ
　ベネファクター 2名
○ベネファクターの寄付額は、千ドルです。

◆寄付を利用する委員会

年次寄付総額の50%が地区財団活動資金（DDF）として地区に還元された資金を左記の委員会で使用します。

■補助金委員会

●地区活動資金＝DDF（新地区補助金、グローバル補助金）の資金管理全般を担当します。

○クラブが補助金の参加資格を取得出来るように指導する。

○全補助金について、ロータリー財団への使用申請、結果報告、適切な資金運営の管理する。

○クラブと地区への補助金の配分についての方針作成と、適正に運用されているかの管理・補助金使用の活動で、資金の乱用や不正行為が疑われる場合の財団への報告と調査をする。

■財団奨学・平和フェロー！学友委員会

◆ロータリー財団奨学

●ロータリー財団が提供する世界で最も大きい国際的な奨学金プログラムで、奨学生は外国へ留学するかたわら、非公式の親善使節としての役割を果たします。

●1947年以来、ロータリー財団の最も古いプログラムで、世界中から4万7千人以上の学生に奨学金が授与されています。

●帰国後は、留学中の勉強や親善使節としての体験談をロータリアンやその他の人々に伝えてまいります。

◆ロータリー平和フェローシップ

●ロータリー財団は、世界理解と平和・紛争解決に捧げる姿勢を持ち、世界を良い方向に変えていく担い手（ロータリー平和フェロー）を育成するためのプログラムを2002年に創設しました。

●毎年7つの「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリー平和センター」（ロータリー平和センター）で60名のロータリー平和フェローを支援しております。

●2770地区は、近隣5地区とともに国際基督教大学（ICU）における「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリー平和センター」を支援するロータリー平和推進地区です。

●また委員会では、近隣地区とで構成するロータリー平和フェローホストエリア協議会の一員として、ICUで学ぶ平和フェローのカウンセラーを委嘱して支援を行っております。

◆ロータリー財団学友

●ロータリー財団学友は、ロータリー財団のプログラムに参加した、財団奨学生、GSE及びVTT派遣メンバー、ロータリー平和フェローシップ生がプログラムを終了しますと、ロータリー財団学友の資格が与えられます。

●学友の活動は、留学中や訪問国先での体験談等を各クラブやイベントでの報告、学友同士の交流、後輩奨学生へのオリエンテーション等での適切なアドバイスなどがあります。

■職業研修チーム（VTT）

ロータリー財団職業研修チーム（VocationalTrainingTeam）

●このプログラムでは他国における自分と同じ職業の実践の様子を理解し、個人的かつ職業上の関係を育み、意見等を交換し合いながら研修します。

●一生に一度の充実した体験を味わい、専門分野についてより理解を深め、文化的な視野も広めることができます。また歴史や職業等に関する新たな理解を得ることによって、社会貢献に寄与することになります。

■新地区補助金運営委員会

●新地区補助金は、1年以内の比較的短期の活動資金に使用されます。人道的プロジェクト・教育的プロジェクトにも国内・海外を問わず、またロータリークラブの有無、パイロット地区、ノン・パイロット地区に関係なく、何れにも使用できます。

●当地区では、地区補助金として各クラブの地域社会活動の資金として利用して頂き今年度は、申請クラブ全クラブに、

★年次寄付百%以上のクラブは845$（32クラブ）を、

★百%未満のクラブには592$（27クラブ）を、

合計59クラブに配分いたしました。海外地区へは、国際奉仕委員会へお願いし運用しております。

ロータリー財団の活動、特に人道的支援は来年度以降も今以上に活発になるものと考えられております。

ロータリー財団の歴史も2世紀をあと数年で迎える中で、財団の活動資金は会員の皆様の寄付で賄われており、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

大ジェスト特集

102人

それぞれの分野が頑張っている私達の国際ロータリー第2770地区。
全メンバーには配布されないけれど、素晴らしい報告書がいろいろあり、
みなさんに読んでいただきたいと思うものがたくさんあります。
11月号では、その中から4冊の冊子を選んで転載し、ご紹介します。
どれも子ども達の書いた報告書です。まっすぐな想いに心が洗われます。

まずは、インターアクトの高校生。この3月の韓国研修の感想文集です。
次に、各高校に置かれたインターアクトクラブの年度版報告書です。
そして、米山奨学生が富士山登山を始めて10年、その初の感想文集です。
最後に、米山奨学生の「合同奉仕事業」の感想文からも抜粋しました。
全原稿のたった1割程度ですが、全部で102人の声、【ダイジェストで大特集】です。

なんでもランキング

従来、月信で掲載していました「全クラブの会員数と出席率」の表は、地区ホームページに掲載してありますので、そちらをご参照ください。

財団寄付100%達成クラブ

達成率(%)

1	八潮	333.89
2	川口・鳩ヶ谷武南	139.54
3	蓮田	125.00
3	三郷中央	125.00
5	三郷	124.14
6	川口	122.54
7	栗橋	118.75
8	大宮中央	108.66
9	大宮東	104.17
10	大宮南	102.94

年次寄付

1	八潮	571.85
2	大宮東	290.03
3	北本	185.19
4	浦和西	176.47
5	さいたま新都心	170.73
6	川口・鳩ヶ谷武南	155.64
7	川口	148.81
8	大宮中央	121.95
9	大宮北東	101.54
10	浦和中	100.00
10	大宮南	100.00
10	蓮田	100.00
10	越谷	100.00

ポリオ

1	大宮	200.00
1	八潮	200.00
3	浦和東	
3	浦和中	
3	大宮中央	
3	大宮西	
3	岩槻	
3	大宮北東	
3	桶川	
3	春日部	
3	蓮田	
3	川口	
3	川口シティ鳩ヶ谷	
3	川口西	
3	戸田西	
3	川口北	

100.00

ベネファクター

米山寄付ベスト10

達成率(%)

1	戸田西	148.15
2	大宮北東	141.92
3	春日部	135.53
4	蓮田	123.61
5	川口	123.51
6	八潮	111.11
7	三郷	110.78
8	大宮東	104.17
9	大宮南	103.53
10	吉川	103.13

新会員純増ベスト8

(人数)

1	大宮	6	☆☆☆☆☆☆
1	大宮南	6	☆☆☆☆☆☆
1	三郷ウェンズデー	6	☆☆☆☆☆☆
4	浦和	4	☆☆☆☆
4	浦和東	4	☆☆☆☆
4	春日部南	4	☆☆☆☆
4	八潮	4	☆☆☆☆
8	大宮	3	☆☆☆
8	大宮南東	3	☆☆☆
8	大宮西	3	☆☆☆
8	春日部西	3	☆☆☆
8	越谷北	3	☆☆☆

通算出席率ベスト10

出席率(%)

			前月順位
1	庄和	96.67	2
2	鴻巣	96.47	3
3	浦和中	96.24	4
4	川口シティ鳩ヶ谷	95.44	1
5	川口北東	95.22	6
6	春日部西	94.28	★
7	浦和南	93.94	★
8	戸田西	93.69	8
9	八潮みらい	93.09	★
10	川口中央	92.78	★

★印は前月11位以下よりランクイン

合計寄付額(ドル) 財団寄付・地区別ベスト10

1位	第2750地区（東京港区）	4639名	238852.65
2位	第2770地区（さいたま市）	2505名	212936.90
3位	第2760地区（名古屋市）	4847名	183309.00
4位	第2710地区（広島市）	3235名	170682.60
5位	第2650地区（京都市）	4615名	163455.75
6位	第2660地区（大阪市）	3710名	113870.75
7位	第2680地区（神戸市）	3011名	112845.00
8位	第2800地区（山形南陽市）	2028名	89716.25
9位	第2590地区（横浜市）	2211名	89186.00
10位	第2570地区（埼玉東松山市）	1746名	85680.00

一人当たりで見ると、我が地区は圧倒的な第1位です！

（）内はガバナー事務所の所在地です。会員数は、それぞれの締め月が違いますので、おおよそになります。

※全て9月30日現在・各クラブからの報告に基づいたデータです。(詳しくは地区のホームページをご覧下さい。)　(財団寄付地区別データは8月末データ。)

昨年度のインターアクト韓国研修の文集より抜粋（2012年3月24日～29日）参加生徒46名・教員3名・ロータリアン5名、総勢55名

子ども達の感想文を読むと「私もホストファミリーになろう！」という気持ちになります。来年1月5日、韓国の高校生が日本に！。さて、来年は部屋を片付けてステイを受け入れようか。

インターアクトとは、ロータリー直営の青少年奉仕活動プログラムで、主に高校生が対象。
我が地区には15の高校にインターアクトクラブがあり、ここを窓口にして韓国研修生を募集。（詳しくはP13）

●訪韓団 団長
PDG 吉田豊治

世の中は競争社会から共生社会に代わってきた中での研修でした。もちろん競争しなくてはならないこともありますが、それは共生社会へのひとつのプロセスであります。ホームステイされた皆さんは、この体験で共生社会の意味が少し理解できたと思います。このことは日本人と韓国の人達が共に生きていく礎になってくれたと思います。
12～13年度は3750地区との交流25周年です。これからも交流が途絶えることなく継続して頂ければと思います。ご協力に心から感謝致します。

●昨年度インターアクト委員長
川口北RC 原 浩明

今年の1月7日、総勢60名の皆様が3750地区から我が地区に訪れました。そして3月24日には、我が地区の総勢55名が韓国を訪問しました。これはその時の子供達の感想文集です。この冊子でご報告にしたいと思います。
来年は1月5日に韓国の訪問団を迎え、皆様にお世話になり、3月23日には我々が韓国に参ります。今年度、交流が始まって記念すべき25周年を迎えます。各クラブ、ホームステイファミリーには、多大なるご負担とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

●引率教師・市立浦和
教諭 高木輝行

これまで優に2千名を超える日韓の若者たちが交流し、この派遣事業に関わられた多くの日韓に人達がお られ、1万人を超える皆様の力で友好親善の絆を深めて現在に至っています。
世界の国々が平和や幸福、繁栄をめざすためには、ますます国際交流や対話、異文化理解が重要になってきます。そしてそれを実践していくのは若者達です。将来の時代を担う若者達が、相手の立場に立って、物事を考え、思慮深い理性と叡智によって行動する力をつけてほしいと願っています。

●引率教師・県立南稜
教諭 高橋 豊

忌まわしい歴史を刻む「三一独立運動の記念館」の見学は最初の予定にはありませんでしたが、無理を実現してくださった韓国のスタッフの方には心から感謝します。記念館見学に関しては色々な意見があるでしょうが、私は、普通に韓国の学生が目にするものは、日本の学生も知るべきだと思います。同じ目線で、お互いを知るためには不可欠なことだと思うからです。その上で、それを乗り越えてゆくような交流をぜひ進めて行きたい。これが未来志向の交流だと思います。

●引率教師・県立南稜
教諭 川崎千尋

この韓国研修の引率を通して、人と人との「つながり」に、人種、国境、言葉というものは全く関係ないのだ、壁にすらならないのだ実感しました。
研修中、生徒がみんな口を揃えて言うのは、「また韓国に来たい」「これからもっと国際交流したい」という声でした。
今後、世界のつながりを担う子ども達が、ここから学んだことを生かし、活躍してくれたらいいと思っています。このロータリーのプログラムによる広い世界とのつながりが、未来永劫続いていくことを願っています。

第3750地区とは、韓国に17ある地区の一つ。水源市が中心エリア。我が地区とは1988年10月15日（金子PG年度）に友好地区となり今年で25周年。インターアクトやお互いの地区大会訪問を通して友好を結んでいる。

ホストファーザーはこう言いました。「これからは家族だ。遠慮するな」。
その言葉があったから、この６日間があったと思います。本当に家族になったかのようでした。

男の子編

■韓国と日本との違いその❶言語が通じない。当り前か。韓国の友達に英語で試みるが、普通に日本語が通じてしまった。その❷やたらと元気、ノリがいい。今この瞬間を楽しんでいるようだ。その❸やたらと積極的。シャイな僕もキャラが変わった。度胸がついた。その❹最後に、食べ物がとにかく辛い！

武南・中原悠惟

■着いた日の晩、真っ赤なキムチ鍋が出てきました。孫さんは「あまり辛くないようにしたよ」と言ったけれど、食べると激辛そのもの。汗をかきながら何とか食べ終わると、辛いものを食べたら、甘いものを食べないとね」といってアイスをくれました。それなら辛いものは食べなければいいのに。

県立川口北・小野田裕介

■ホームステイ先を3軒回ることになって、基本的に自由な時間はありませんでした。初日のホームステイ先では「泊まるところがないのよネ」と言われて動揺してしまいました。色々あったけど、なんだかんだ楽しかった。

春日部共栄・鈴木雄也

■だんだん辛くなってきて、おいしいけど辛くて食べられないような状態になる事件発生。サファリバスに乗って、熊やライオン、ホワイトタイガーを見て気分上昇。さまざまな体験をすることができ、今回の韓国研修を通して学んだことをこれからの生活に役立てていきたいです。

埼玉栄・田名網翔太

■交流会があり、韓国側の出し物はどれも魅力的で思わず見入ってしまいました。でもこちらも負けじと練習してきたソーラン節を始めとした出し物を。ちゃんとできて良かったです。

県立越谷東・長山英一

■1日目、ホストファミリーにどのような顔で何を話せば良いのか分からない私に、ファーザーはこう言いました。「これからは家族だ。遠慮するな」。その言葉があったから、この6日間があったと思います。本当に家族になったかのようでした。この6日間は一生の宝物です。

県立岩槻商業・野宮 孝

■ホストファミリーからは、この身の上に余りあるほどの愛情を受けたと思っています。他にも、ガイドさん、通訳の人たち、韓国の学生、ロータリーの人達、研修を共にした仲間達や先生…。この機会があったからこそ出会うことができたのだと思います。この研修に参加しなければ、一生赤の他人だったのではないでしょうか。"出会いの大切さ、そのことを体感することのできた、とても充実した6日間でした。

県立岩槻商業・田中 俊

■交流会の演し物で豆絞りがうまく縛れなかったので、坊主にして行ったのですが…これが何故か韓国の人に好かれてしまい、この6日間ほとんど頭を弄られました。まぁあまり人に構ってもらったことが無いので嬉しかったですが、頭を弄られるのは嫌なので、今度韓国に行く時は坊主には絶対しないと思いました。

県立鴻巣・井上正士

■思い出を語りはじめれば収拾がつかないくらい多くの体験をしました。一番印象的だったのはステイ先の家族との交流でした。会話は僕の勉強不足でなかなかうまくいかないことのほうが多かったのですが、分からなくても楽しい。なんだか安心する。言葉が通じなくてもステイ先の家族と確かに信頼が築かれていく。素晴らしい日々を送ることができたことに、とにかく感謝一杯です。

大宮開成・宮崎和志

■三一独立運動の当時の様子を伝える資料館に行き、過去に起きた事実も知りました。この時、見るだけでも苦しくなるようなことがあったのを忘れてはいけないと強く感じました。辛い過去を知って学んでこそ、お互いを理解しあえると思うし、同じ過ちを繰り返さないためにも、大切なことを学ぶことができたと思います。

県立川口北・伊藤光軌

頭を丸めた井上君

会話は僕の勉強不足でうまくいかないことのほうが多かったのですが、分からなくても楽しい。
なんだか安心する。たとえ言葉が通じなくてもの家族と確かに信頼が築かれていく―。

日本人ってけっこう持てます。ハンサムと言われたのは人生で初めてです。お世辞だとしても嬉しい。
一時移住も考えました。韓国の女性は積極的なので、草食系の私にはピッタリかもしれません。

女の子編

■ソウルを案内してくれたオンニが、ゆみ・まゆ・そして私の誕生会を開いてくれたのが凄く嬉しかったです。まさか韓国でケーキのロウソクを消せるなんて幸せでした。みなさんのお陰で沢山の思い出ができました。絶対忘れません！サランヘ。

市立大宮西・梅津有里

■韓国の方々の生活に深く関わる所にも連れてってもらいました。カラオケでは有名な韓国のアーティストの曲を歌ったり、お互いの国で有名な曲を歌ったりしました。ホームステイ先の皆さんは、歌もダンスも上手で、とても盛り上がりました。

春日部共栄・南 桃子

■全日程を通して、人の温かさに触れることができたことを本当に嬉しく思っています。国際交流のためには、ただアドレスを交換して友達になるということだけではなく、お互いの文化、歴史、そして言葉などを理解しあうことがとても大切だと思います。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

市立浦和・畠山佳穂

■これからの日韓交流には、私達のような若い人が積極的に取り組んでいく事が大切だと思います。その為に今回学んだ事をしっかり生かしていければいいです。今、K—POPや韓流ドラマが日本で人気があるので、韓国に興味を持っている若い人は多いと思います。そのことを生かして、これからもっともっと日韓交流が上手くいくようにしていくべきだと思います。

市立大宮西・大野優香

■ホームステイ先のアッパやオンマはとても優しくしてくれました。少しの言葉しか通じないのにたくさん声をかけてくれました。アッパのおかげで韓国語での会話が成立するようになったと思います！オンニも夜遅くにホットクを作ってくれました。おいしかった。オンマのつくるご飯おいしかった。また食べたい。韓国料理おいしかった。

市立川口・今井まりあ

■私は韓国に行って得たものが2つあります。1つめは「家族」です。ホームステイで私は2つ目の家族を持つことができて、普通の人には経験できない貴重な体験をしました。2つめは「国際的な視点」です。異文化にふれあうことができ、1つの問題を他方から見つめる視点を養うことができました。この「国際的な視点」をうまく使って、研修を通して興味を持った日本と韓国の問題を見つめていきたいと思います。

大宮開成・小菅くるみ

■毎晩、少しの時間だったけれども、リビングで私はホストファミリーと話しをしました。驚いたことに、お父さんたちは日本語を勉強してくれていました。お父さんたちに日本語を教え、私は韓国語を教わりながら、1つの問題を他方から見つめる視点を養うことができました。

明洞の夜みんなで

畠山佳穂　南 桃子　梅津有里　齋藤 廉　渡部晃司　小菅くるみ　今井まりあ　大野優香

韓国料理おいしかった。

1つの問題を他方から見つめる視点を養うことができました。この「国際的な視点」をうまく使って、
研修を通して興味を持った日本と韓国の問題を見つめていきたいと思います。

ニュースでは、日韓関係でいいことも聞けば、悪いことも耳にします。
私たちの架け橋が小さくても、この交流は大切だと、2度も韓国研修に参加させてもらい感じました。

私たちは架け橋

毎晩、楽しく過ごしました。日本に戻ってからも、お父さん、お母さん、娘さんと時々メールしてます。ニュースでは、日韓関係でいいことも聞けば、悪いことも耳にします。たとえ、私たちの架け橋が小さくても、この交流は大切だと、2度も韓国研修に参加させてもらい感じました。

県立上尾・牛久保有美

■今回の韓国研修で一番思ったのが、反日感情を抱いている人に少しでも日本のことを好きになってもらうために、私達にできることを考え、日韓の関係がもっともっとよくなるように行動していきたいということでした。

県立春日部東・増田紗季

■韓国ではたくさん食べる人が美人だと言われるそうです。私が食べていると箸を休める間もなくどんどん入れてきます。"チャルモゴ(たくさん食べて)"と何回も言われました。日本ではご飯と一緒にお肉を食べるのに対し、韓国では最初に肉、その後にご飯や冷麺、チゲ、ラーメンなどを食べます。チゲは『辛い』の一言です。辛いけどなぜか止まらなくなります。

県立川口北・中井真優

■4日目に行った百貨店ショッピングは、韓国にしかないものがたくさんあり、たくさん買いました。それだけでは足りなかったので、その後ホストファミリーに洋服屋に連れていってもらって、服も何着か買いました。日本と比べて物価が安く、デザインもカワイイ物ばっかりで、女子高生にとっては最高の買い物ができました。

県立越谷南・中村めぐ

■2回目のホームステイでした。交流会では、前に韓国の学生が日本に来た時にできたたくさんの友達に再会できたので、とてもうれしかったし、楽しかったです。韓国の友人としゃべったり遊んだりしていると、私達は、お互いの国を理解し、愛情で接しているように感じました。歴史を学んで相手の国を理解することは難しいけれど、直接人と接することで日韓の友好関係をむすぶことができるのではないかと思います。私にとって韓国のホームステイは、韓国を満喫する旅行ではなく、これからの日本と韓国がもっと友好していく、ひとつの『運動・活動』だと思っています。だから、もっとたくさんの学生に参加してもらいたいなと思います。

県立鳩ヶ谷・川本美瑠

■ホームステイの家には、ホストシスターとブラザーがいました。20歳のお姉さんと、中学3年生の弟ができました。私は一人っ子なので、オンニ(お姉ちゃん)と呼べることがすごく嬉しかったです。日本に帰国した今も連絡を取り合っています。

県立南稜・四至本波美花

牛久保有美　増田紗季　中井真優　中村めぐ

四至本波美花さんとホストファミリー

川本美瑠　四至本波美花　藤野智子　岩田仁玲花　伊田美里

もっと食べなさい。

■韓国の食文化では、食べ物を残してもいい文化なのですが、つい癖で無理して残さずご飯を食べたら「もっと食べなさい！」と、さらにたくさん盛りつけてくれて戸惑ったことも……。

県立南稜・藤野智子

■家族と言いたいことがなかなか通じなくて、お互いにもどかしい気持ちになりました。だから私は、今回のホームステイの家族にまた会えると信じ、次会った時は韓国語で会話できるくらい韓国語を勉強したいです。

栄東・岩田仁玲花

■日本と韓国はこれからの交流次第でより良い関係を築いていけると思います。将来自分達の手で、日韓の友好関係をもっと良くしていきたいです。

淑徳与野・伊田美里

■私は1月に日本に訪れた韓国のヘリョンちゃんを我が家で預かり、6日間彼女と一緒に過ごしました。他にもウンキョン

ホームステイは、これからの日本と韓国がもっと友好していくひとつの『運動·活動』だと思っています。
だから、もっとたくさんの学生に参加してもらいたいなと思います。

特に感動したのが、交流会で日韓の高校生による「栄光の架け橋」の大合唱でした。
全員が一つになった気がしました。言葉は違うけれど心が通じ合ったと思えた瞬間でした。

嬉しくて泣く。

ちゃん、ゾヨンちゃんの3人と日本で楽しい思い出をつくることができました。今度は私が韓国に来ましたが、町が違うので多分会えないだろうと思っていました。ですが、その3人と2日目の交流会で再会することができ、私はとても驚きました。私は嬉しくて。少し泣きそうになりました。

獨協埼玉・丸岡 遥

■韓国研修は私の世界観を大きく変えてくれました。過去を学び乗り越えてこそ真の平和が手に入ると思います。そのために私は、もっと勉強して両国の架け橋になっていきたいです。

武南・関根彩夏

■私の家族は本当に優しくて私が今回韓国に来て、したいこと、行きたいところ、食べたいもの。時間がないのにすべて叶えようとしてくれたのです。私は常に全力で気持ちを伝えました。思い出がありすぎて書ききれないのがとても残念です。

県立南稜・佐野仁美

■韓国と日本はとても近い国です。けれど私は韓国のことをほとんど知りませんでした。言葉をはじめ伝統や文化、流行や食生活というような生活を、自分の身をもって感じてみると、日本と似ているところがとても多くて驚きました。

浦和実業学園・高口のどか

■特に感動したのが、交流会で日韓の高校生による「栄光の架け橋」（ゆず）の大合唱です。ホールにいる全員が一つになった気がしました。言葉は違うけれど、心が通じ合ったと思えた瞬間でした。

市立浦和・浅間ひかる

■私達が買い物の荷物を持っていると、必ずジュンヒが持ってくれました。韓国では女性の荷物を持つのは当たり前だということです。

市立大宮西・渡邉雪乃

■3日目はエバーランド（遊園地）に行きました。中に入ってみると驚いたのが、かわいい飾り付けがしてある大きな木があったことです。普通の人は驚かないのですが、私はこの気をYouTubeで見たことがあって、その木の前で私の大好きな韓国のアイドルグループf（x）が踊っている動画をつい最近見ていたので、「同じ場所に立ってる！」と感動してしまいました。

市立川口・松井沙季

■日本では韓流文化が流行しています。K-POPに韓国ドラマ、料理に化粧品等、メディアを通して何となく興味を惹かれていました。実際に韓国に行って、サブカルチャーはもちろん伝統文化や歴史的な背景についても踏み込んで体験できたのは貴重な経験となりました。後輩達にも、是非この経験をして欲しいです。

大宮開成・松戸柚衣

■ホームステイの家族にとても恵まれました。夕飯には毎回外食に連れて行ってもらい、言葉の壁はありましたが、英語、日本語、韓国語を使って多くの話ができました。午後にホストファミリーと過ごせる時間があった時、韓国の伝統的な踊りを見に行きました。家族全員に本当に親切にして頂いて感謝しています。

春日部共栄・与芝奈都美

■ファミリーとは本当に家族のような毎日を過ごしました。家族のあたたかさにふれていくうちに、私も彼らに何かをしたい、どうしたら喜んでもらえるか、と考えて行動することができました。私達とホストファミリーのように、心が通い合った人々がいれば、日韓の平和は保てると思います。

県立岩槻・佐藤芽衣

■歴史の博物館などで改めてわかったように、まだ歴史的な溝があるのも確かな事実なのです。そういったことを忘れるのではなく、お互いに許し、歩みよってこそ、初めて友好的な外交ができるようになるのではないかと思いました。

県立岩槻・常角七海

お互いを許し、認め、

四至本波美花さんとホストファミリー

浅間ひかる　高口のどか　佐野仁美　関根彩夏　丸岡遥

渡邉雪乃　常角七海　佐藤芽衣　与芝奈都美　松戸柚衣　松井沙季

まだ歴史的な溝があるのも確かな事実です。そういったことを忘れるのではなく、
お互いに許し、歩みよってこそ、初めて友好的な外交ができるのではないかと思いました。

失敗から学んだことがあります。それは、伝えたいという思いがあれば身振り手振りでも、
単語を並べるだけでも通じる。大事なのは伝えたいという気持ちだとわかりました。

これから先を担う。

■参加して友達がたくさん増えたし、自分の将来の夢へ「もっとがんばろう」と思うことができたので、参加できて良かったです。ありがとうございました。

県立川口北・伊藤穂香

■自分の中の決めていることなどは捨てて、その国のカルチャーを素直に受け入れ、現地の人たちと同じ目線になって、その土地の文化などを理解しようと決めて韓国へ行きました。この研修を終えて後悔していることは、もっと韓国語の勉強をしていれば良かったということです。その土地の言葉を語るからこそコミュニケーションの幅が広がり、本当に楽しめるのだと改めて実感しました。しかしこの失敗から学んだことがあります。それは、伝えたいという思いがあれば、身振り手振りでも、単語を並べるだけでも通じる。大事なのは伝えたいという気持ちなんだとわかりました。

県立川口北・高橋美里

■私達はまだ若く「未来に向かって生きて行く」人間です。私達が韓国の親しくしてくれた方々とするべきことは「これから先のこと」を考える事。将来の日本と韓国の関係がより深まるように、このような研修を通してお互いの絆を深めることだと思います。

県立越谷南・瀧愛永

■二回目の韓国に行かせていただきました。4人でホームステイ先に行きましたが、3人はあまり韓国語が話せないといいます。私は前回で韓国の友達ができ、会話程度の韓国語が話せるので、がんばらないといけないと思いました。オンマの家族も日本語が全くできなかったので、それが自分の語学力をさらに成長させてくれたと思います。

県立鳩ヶ谷・今津亜里子

■1日目に会った家族は、みんな優しかったです。2日目の交流会で、韓国のテコンドーが見ました。次々と板を割っていくのですが、私達の披露する合気道を不安にさせるくらい迫力がありました。3日目は遊園地。並んでいる人が多く一番恐いであろうジェットコースターには乗れませんでした。4日目は、学校訪問です。就職する学生の話を聞き、とても熱心に勉強していることが伝わりました。5日目は家族の人達が東大門へ買い物に連れていってくれました。日本よりも値段が安かったです。6日目は、バスに乗る前にファミリーが沢山のお土産を渡してくれました。とても嬉しかったです。短い期間でしたが充実した日々を過ごし、多くのことを学べました。

県立南稜・丸明日香

■最終日は夜9時頃から1台の普通の車に12人乗って東大門に行きました。着いたのは11時頃。東大門ではソウルの友達とも会うことができ、洋服やアクセサリーをたくさん買って、ホットクも食べました。家に帰ったのは3時。毎日が宴会でした。

淑徳与野・中嶋梨紗

■ホームステイ先はロータリアンではなく、一緒にどこかに出かけたりすることはありませんでしたが、家に帰るといつも温かい笑顔で「お帰り！」と言ってくれました。娘さんは私と同じ高校生で、学校の寮で生活をしているそうですが、朝5時に起きて夜12時まで勉強しているという話を聞いて驚きました。

獨協埼玉・元橋美保

■「修学旅行のようなもの」と言われれば、それも正しいような気がする研修でした。ただ決定的に違うところは、隣にあるのは広い「社会」であることだと思います。研修は、予定をこなすだけで手一杯でしたが、向こうの方との、同じ人間としての温かい優しさや言葉が、私のすぐ隣に、新しい「異社会」という箱を置いてくれました。社会が遠いようで近く感じられたことが、異文化理解のひとつだと思いました。

獨協埼玉・杉野紗代

1台の車に12人乗って

伊藤穂香

高橋美里

瀧愛永

エバーランドで記念撮影

今津亜里子

丸 明日香

中嶋梨紗

元橋美保

杉野紗代

韓国の方との、同じ人間としての温かい優しさや言葉が、私のすぐ隣に、新しい「異社会」という箱を
置いてくれました。社会が遠いようで近く感じられたことが、異文化理解のひとつだと思いました。

みんなが口にする「インターアクトクラブとは何なのか？」
昨年度報告書より「その全体像をダイジェストでご紹介！」

●インターアクトクラブとは

12歳～18歳の青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。主に高校に部活動としておかれます。他に18歳～30歳のプログラムとして、ロータアクトクラブが。両アクトは、ロータリー直営の青少年奉仕活動プログラムです。

●その目的

奉仕と国際間の理解に貢献するため、世界的親交をし、共に働く機会を若い人に与えることにある。

●その目標

1 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。
2 他人へ対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践。
3 家庭と家族の重要性の認識と涵養。
4 各自の責任を果たし、懸命に努力する。
5 全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を自覚する。
6 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める。
7 国際理解と親善の推進等を行う。
（ウィキペディアより転載）

●270地区の概要

●インターアクトクラブは、我が地区に約30あり、そのうち約5クラブが休眠状態。さらに5クラブが会員数5人未満。部員数の減少で活動中止もあり実際は約20クラブが活動しています。
●しかし、一昨年度には、蓮田松韻高校、岩槻商業高校が加わり、今年度は武南高校が加わるなど、活動も一層盛んになっている傾向。世界的に見てもインターアクト（青年向け）共、拡大傾向にあります。
●メイン事業として、韓国375O地区への相互訪問があり、今年で25周年です。他にもさまざまな社会奉仕活動やボランティア活動に取組み中。最近では、東日本大震災の募金活動等で功績を。
●特筆すべきこととして は20年に亘るインターアクターとホームステイの交流を綴った名著。（月信10月号参照）日本と韓国の両国で出版されました。

●今年度の年間事業

○インターアクト年次大会／12年8月18日19日ホスト高・県立南稜高校
○新世代復興バザー参加／12年11月10日
○合同奉仕活動／12年11月17日、募金活動
○韓国からインターアクト交流訪問／13年1月5日～10日
○インターアクト協議会・1月6日・市立浦和高校
○韓国へインターアクト交流訪問／13年3月23日～28日
（三國直前ガバナー／前インターアクト委員長・原浩明／現インターアクト委員長・海田英彦、各氏より情報提供）

●顧問教師会会長 今井茂夫氏挨拶文より

●インターアクトクラブでは、将来社会を担う新世代の為に、多感な高校時代に多くを経験のチャンスを与えるように顧問教師が指導しています。
●その経験から、自ら考え、判断し、行動できるよう成長してゆくことが大切なことだと思います。
●高校生は、未来を背負って立つ人材です。今はできることが限られ小さくても、大人になり社会に貢献していく為に、自分を磨き、鍛え、高めていって欲しいと思います。
●特に「人を思いやる心」、「人と人との繋がり、絆」を大切に育んでいって欲しいと思います。

現在インターアクトクラブがある高校は31校あります。古い順位紹介。（カッコ内はスポンサークラブ）
1大宮工業（大宮北）2上尾（上尾）3大宮商業（大宮）／以上1965年発会、15年には50周年です。

4春日部工業（春日部）5大宮開成（大宮南）6淑徳与野（与野）7埼玉栄（大宮西）8南稜（戸田西）9市立浦和（浦和東）
10栄東（大宮東）11浦和実業（浦和）12春日部共栄（春日部西）

13市立川口（川口モーニング）14獨協埼玉（越谷北）15市立大宮西（大宮中央）16開智（岩槻東）
17鳩ヶ谷（鳩ヶ谷）18大宮光陵（大宮南西）19川口北（川口北）20伊奈学園総合（蓮田）21岩槻（岩槻）

●**大宮開成高等学校** クラブのモットーは「さりげないやさしさ」。心地よい汗を、笑顔と感謝とともに流します。RI会長賞を頂き、大感激です。
●**淑徳与野高等学校** 現在1年生部員4名と顧問5名で運営。相変わらず人数確保が厳しいですが、クラブ維持に努力。
●**埼玉栄高等学校** 部員数147名。特色は、音楽活動を通じて、地域社会に貢献奉仕することです。被災地では地元高校吹奏部と合同でチャリティーコンサートも開催。
●**県立南稜高等学校** 地域の様々な活動に声がかかるようになり、高校生が地域に果たす役割が大きいことを感じています。部員数は18名です。
●**市立浦和高等学校** 結成30周年。部員一人ひとりがさまざまな活動で視野を広め成長しています。活動も活発。この一年の主な活動は29本！（4頁に亘る報告ほ圧巻）

全国高校生英語ディベート大会に優勝し、世界大会に（市立浦和）

あしなが募金活動（淑徳与野）

老人ホーム「ボヌール」慰問（大宮開成）

●**栄東高等学校** 吹奏学部との兼部という形で活動しています。「think globally,act locally のスローガンの下、身近にできることから一つずつ取り組んでいます。
●**浦和実業学園高等学校** 歯科検診手伝い／校内校外清掃／ペットボトル回収／韓国高校教師交流会／文化祭バザー／あしなが募金／東京マラソン、さいたま市民マラソン、ボランティア参加など。
●**獨協埼玉高等学校** 部員数14名。震災支援で大学生が中心に設立した『笑顔プロジェクト』に参加。家にある不要なものを回収換金して、被災地の学校に送りました。
●**市立大宮西高等学校** 部員数19名。独自の取り組みは、特別支援学校（養護学校）高等部との相互交流です。年に2回行われ今年で18回、9年目です。
●**県立鳩ヶ谷高等学校** 部員数12名。保育園訪問／障害者工場製造のお菓子販売／緑・赤の羽根募金／盲老人ホームへの寄付活動／韓国研修学生の学校訪問受け入れなど。

韓国日本語教師交流会（合同事業）

芝桜保全のための除草（県立越谷東）

養護学校との交流（市立大宮西）

●**県立川口北高等学校** 本校は「国際交流クラブ」と称し、姉妹校であるオーストラリア・フランクストン高校で研修した生徒も入部しています。
●**県立岩槻高等学校** 部員数10名。学校の中外で活動することで、経験の幅が広がった気がします。来年度も新入生の働きかけ、身近な出来ることから取り組みます。
●**県立大宮武蔵野高等学校** 部員数12名。特別支援学校の生徒さんとボーイスカウトの子ども達と、芋の苗植えと収穫をする『太陽の恵み事業』も今年で3年目。採れた芋は、被災地の子ども達に食べてもらいました。
●**県立越谷東高等学校** かつては「JRC部」、今は「JRC・インターアクト部」に。カンボジアにTシャツを送る活動で、276枚のTシャツを集めました。芝桜保全の除草作業は継続事業です。
●**県立岩槻商業高等学校** 発足から2年の新しいクラブです。部員数は19名。例会には必ず岩槻東RCの方がお見えになり、サポートして頂いています。

22幸手（幸手）23越谷南（越谷南）24鴻巣（鴻巣）25春日部東（春日部南）26松伏（松伏）
27大宮武蔵野（大宮シティ）28越谷東（越谷東）29岩槻商業（岩槻東）30蓮田松韻（蓮田）31武南（川口）昨年発会

富士登山を始めてから10年目「米山奨学生19人をはじめ総勢35人が参加」

10周年で初めての感想文集より「よねやまのみじやま」その全体像をダイジェストでご紹介！

寒さも疲れも吹き飛んだ御来光。留学生活の感動と感謝が極まりました。

■「世界の仲間と平和祈願富士登山」と掲げて行った今回。米山19名・青少年2名・ローターアクト1名・ロータリアンと家族13名で、35名という大世帯でした。初めての試みで感想文の提出をお願いしましたのでご高覧ください。

隊長・吉田豊治PDG

■米山奨学生・交換留学生に、日本の一番高い山、日本一番美しい山、霊峰富士山を登山してもらい、日本を身近に感じ、日本の良さを理解して、もっと日本を好きになって欲しいと思いました。

この素晴らしい企画を吉田パストお一人の責任で行われている事に大変驚きました。

金杉光左生（八潮みらいRC）

■久しぶりに登山のきつさを味わい、年を感じるとともに、再挑戦の気持ちが湧いてきました。吉田パスト、越谷南の皆様に感謝すると共に、この事業に地区部門委員会の支援協力が有ってもいいのかなと思いました。

頓田 茂（吉川RC）

■みんないい顔をしていました。何かにチャレンジする時って、いい顔をするものですね。吉田パストのみんなを喜ばせたい！という思いが伝わり感動しました。かっこいい!!と思いました。一生心に残るたくさんの宝物をありがとうございます。

若盛圭恵（松伏RC）

■昼間山行が暑さとの戦いだとしたら、夜間山行は寒さと疲れとの戦いでした。登るにつれ寒くなり疲れていく皆は、寄り添って手伝って一歩ずつ頂上まで登り切りました。寒さも疲れも吹き飛んだ御来光。留学生活の感動と感謝が極まりました。

金正録（大宮西RC）

■夜中、遠い下から遠い上まで小さく動いているライトを見て、参拝信仰に感動。それは自分の力になりました。御来光は、雲海の言葉通り、雲か海か分からない、もっと素晴らしい風景。みんなで「万歳」と叫びました。

陳献平（大宮RC）

■どんな大変でも、一歩ずつ前に進めば目的に辿り着けることを実感しました。

どんな大変でも、一歩ずつ前に進めば目的に辿り着けることを実感しました。

みんなとてもいい顔していた。

登り始めてすぐ下山する人達に出会った。みんな死にそうな顔をしていて、登山は諦めて家に帰りなさい」と目でサインを送ってくれた

これは私の研究も同じだと決意しました。下山途中で足を痛め、私は初めて馬に乗りました。これも私の一生の思い出です。（馬の料金は吉田パストが支払ってくださり、ご迷惑をおかけしました）

トウトウ（大宮シティRC）

■越谷南クラブのおかげで、仲の良い友達がたくさんでき、留学生生活に一生忘れられない素晴らしい思い出ができました。（9月号の月信でも登山記を代表して書かせても頂きました）

マウン ソーピィーウィン（川口RC）

■頂上に着いた時、疲れてるし眠いし頭も痛かった。しかし日の出を見た瞬間、疲れを全部忘れて、自分のこれからの道が明るくなると思った。感謝の気持ちでいっぱいです。

陸璐（八潮RC）

■頂上で私が感じたのは、登山の大変さより、頂上まで登った喜びと感動。頂上の寒さより、ロータリーファミリーの温かさ。富士山の高さより、ロータリーの絆の深さです。

張静（大宮南RC）

■想像したよりずっと辛い、下山はもっと辛かった。一人なら途中で諦めていたかもしれません。一人なら成し得ないこともチームなら出来てしまう事が不思議です。下山の途中二度と行かないと何度も思いましたが、今感想文を書きながら「来年もまた参加しようかな」と思いはじめました。

尹琳景（戸田西RC）

■イランでも良く知られている日本の富士山を登れて誇りに思っています。たくさんの留学生に勇気、希望&自信を与えてくださってありがとうございます。思い出は心の奥に大切に。

アリアバッティマルジェ（浦和RC）

■29日朝7時南越谷出発、11時半五合目到着。12時半登山開始、18時半8合目の山小屋到着。夕食・仮眠後、22時登山再開、翌朝4時半頂上到着。ラーメンを食べて御来光を。

6時に山を下りはじめ11時過ぎ五合目に戻る。

24時間の富士登山。富士山は日本の象徴。私達外国人にとって富士登山は日本にいられたことの証明です。

魏錦（三郷RC）

■天気が良くてきれいな星空が見えました。手を伸ばせば星が取れそうで、もう一歩踏み出せば、空に辿り着きそうな気がしました。

陳穎（松伏RC）

■登り始めてすぐ下山する人達に出会った。みんな死にそうな顔をしていて、その中で馬に乗った人とぴったり目が合った。「今なら間に合う！登山は諦めて家に帰りなさい」と目でサインを送ってくれたが無視した。しかしそれからが地獄だった。

崔賢喆（浦和北東RC）

■私達は頂上で素晴らしいご来光を見ましたが、必ずしも見えるとは限りません。しかし登らないと絶対見えません。富士山を通して、努力の価値を実感しました。

王君香（三郷中央RC）

■努力は報われたというか、運がよかったというか、万歳の中、幻想的なご来光を迎えました。自分で登った山からの景色は最高です。これからも人生における山々を乗り越えたいと思います。

蘇鑫（岩槻RC）

■下山中いちばん辛い時「いつ目的地に着けるとか、後どのぐらいとか考えないで、ただ一歩前へ」とガイドさんに教わりました。長い人生、光明の時があれば、暗闇の時もあります。見えない明日をひたすら心配して悩むより、目の前のどんなことでもこなせることが一番大事だと、この時分かりました。

周雪佳（大宮北東RC）

■やっと山頂に着いた。本当に信じられない。こんなに美しい朝日は、初めて。天候にも恵まれ、満点の星空、ご来光もバッチリ見ることができた。星とこんなに近い。涙出るほど嬉しくて感動した。全身砂まみれ、汗まみれでグジャグジャ。でも来て本当に良かった。

陳毓丹（吉川RC）

■昔、中国でいつも世界からのマイナスニュースを聞いていたので誤解が起こりやすかったです。世界との交流があまりなかったからです。今、自分は昔の教育を取り払い、世界の視点で頑張りたいと思います。富士山に登って、そう思いました。

朱鴻（獨協ロータアクト）

■親も同行して韓国から参加させていただきました。富士登山は5回目です。今まで4回は、悪天候で苦戦をしましたが、今回は雨も降らずに良かったです。「また登る？」と聞かれたら、迷わなく飛んでいきます。ロータリアンと米山の仲間達と一緒ならどこへでも飛んでいきます！

田敏（学友・越谷南RC）

■米山奨学生たちの活気溢れる姿とロータリアンの献身が絶妙に融合され、見事な共演でした。参加させて頂きありがとうございました。

田敏のご両親

■金子一男・石川禎三（松伏RC）・村井佐江子（吉川RC家族）・北山修之（大宮シティRC）・野呂田昭仁・久木野光弘・越谷南（越谷南RC）の皆様からも感想文を頂きました。紙面の都合で、掲載できなかった事をお詫び致します。

星とこんなに近い。涙出るほど嬉しくて感動した。全身砂まみれ、汗まみれでグジャグジャ。でも来て本当に良かった。

今年度の「米山記念奨学生・学友会、合同奉仕活動・9月15日」（老人ホーム訪問感想文集）より抜粋

米山奨学生、年に一度の合同奉仕「老人ホームでのアトラクションと交流会」「多感な若者は何を感じ、どう向き合ったか」

感想をダイジェストでご紹介！

■開会式では、施設代表、田中ガバナー、中里部門が挨拶。その後ショーが始まりました。パフォーマンスも非常に興味深くて、民族の歌と踊りから、民族楽器まで見ることができて勉強になりました。記念写真の後は、おやつを食べながらお年寄りと笑い話をして、心を癒される時間はあっという間過ぎました。

懇親会では小林地区幹事が撮ってすぐプリントアウトしてくれた今日の面白い写真を見ながら、ロータリアンの皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしました。

この奉仕活動に参加ができて心より感謝致します。

ヴェルナー・マティアス・ロバート（越谷北RC）

■「赤・紫・緑・青・ピンク」という五つのチームを分けて、皆さんに「北国の春」を歌ったり、中国の民族舞踏「太湖美」等ダンスを踊ったり、ミャンマー留学生はビルマの竪琴を弾いたり、色々なパフォーマースを披露しました。

閻怡（浦和東RC）

■最後の「故郷」の合唱の時、隣のイランのマルジエさんが歌いながら涙してました。ご老人が涙を流しているのを見ての貰い泣きです。何か胸が熱くなりました。いつまでも元気で長生きして下さい。力になりたいと思って奉仕活動に参加をしましたが、逆に私が皆さんに元気をもらいました。

金正録（大宮西RC）

■お年寄りが楽しみにしていると聞いて、特別に中国の民族ダンスを選びました。一ヶ月前から音楽と服装の準備や練習を始めたので、本番は感情をこめて踊ることができました。プロではないので、緊張しすぎ体が硬くなったりしましたが、暖かい拍手が本当に嬉しくて感動しました。

最後に、お年寄りと一緒におやつを食べました。お年寄りは、若い頃いっぱい苦労をしたから、今の私達の幸せな生活がありります。これからは私達が奮闘する番です。

おじいちゃん、おばあちゃん、元気で長生きしてね。後は私達に任せて下さい。

魏錦（三郷RC）

■一番印象的だったのは「故郷」を歌うときです。

お爺ちゃんお婆ちゃんも一緒に歌ってくださいました。その時、お互いの顔を見ながら、お互いの気持ちが通じあっていると感じました。老人ホームにいるお爺ちゃんお婆ちゃんたちと、海外に留学している私達の故郷への思いは同じなのだなと思いました。いつになっても故郷は一番あたたかいところです。自分が奉仕活動に行ったのに、反対に支えられてしまいました。

賀迪（蓮田RC）

■奉仕活動とは「自分が手助けをしている」と思いがちですが、今回の体験で、そう思う事は傲慢で、本当は喜んでくれている姿や声を聞いて自分が「癒されている」事に気が付きました。私はとご老人が涙を流しているのを見ての貰い泣きです。私が皆さんに元気をもらいました。

お互いの顔を見ながら、お互いの気持ちが通じあっていると感じました。

「働けるときに早く働きなさい！　そして手を動かしなさい！　そうすれば私のようにこの年になってもボケることもなく、元気で生きていけるんたよ」と94歳のおばあちゃん。

ても暖かい気持ちになり、忙しい毎日の中で忘れかけている熱いものがこみ上げてきました。

王媛媛（大宮東RC）

■日本はお年寄りのための社会福祉システムなどはきちんと整えられています。これから高齢化社会に入る中国は日本から学ぶことは多いのではないかと思います。中国でも日本でもお爺ちゃんお婆ちゃんの素敵な笑顔が見たいです。愛の溢れる社会になってほしいです。

張暁（大宮中央RC）

■最近日中関係は色々あり、奨学生のほとんどが中国出身なので、老人ホームに行ったらどんな酷い目に遭うのだろうと、心配をしました。しかし行ってみたら、考えすぎって感じでホッとしました。みんなそういう話を一切していなくて優しくしてくれました。政府同士の揉め合いは平民には及ばないということですかね（笑）。

陳穎（松伏RC）

■今回の活動は「四つのテスト」の真の意味が詰まっていたと感じました。私たちは真実の笑顔で真剣にパフォーマンスをやって、老人だろうか若者だろうか皆が公平の立場でお互いに励んで、活動を通じて、仲間の友情やお年寄りに対する好意が深められまして、皆のために各自の役目やポジションを守って、素晴らしい活動を完成させました。これが四つのテストの本当の意味じゃないかなぁと感じています。

馬俊涛（越谷南RC）

■今回いちばん記憶に残っているのは94歳のおばあちゃんです。94歳には見えないおばあちゃんが、「働けるときに早く働きなさい！　そして手を動かしなさい！　そうすれば私のようにこの年になってもボケることもなく、元気で生きていけるんたよ」と話されたことが印象に残っています。

崔賢喆（浦和北東RC）

■尖閣諸島をめぐる日中関係が悪化している中、私たちは「奉仕を通じて、平和を」を実践していると思います。私たちは行動で平和を切望する気持ちを表明したと思います。中国にいる多くの人々は日本のことはよくわかっていなくて誤解する人が多いです。日本人の平和を大事にする気持ちを中国の人々に伝える義務があります。日中関係が一日も早くよくなるようにお祈りします。

周京梅（上尾RC）

■この老人ホームは環境もいいし、スタッフの面倒見もいいです。それを見て、ほっとしたと同時に、中国の老人ホームのことを思い浮かべました。そこは絶対にきれいな環境とは言えません。そして、スタッフが老人を虐待するニュースも時々出ます。それを思うと心が痛みます。誰でもいつか年をとるのです。どうしてそのような酷いことをするのでしょう。そのような人は、おじいちゃん、おばあちゃんの面倒を見る資格がありません。これからは、政府の監督だけではなく、私たち市民からの監督も必要になると思います。将来私が帰国したら、出来る限りそういうところを何とかしたいと思います。奉仕活動の意義はその日だけにあるのだけではなく、これからもずっとずっとあるのではないかと思います。今回のチャンスをいただきありがとうございました。

王佳（岩槻中央RC）

■9月15日に、文教大学の博士後期試験のため、この奉仕活動に参加できなくて、とても残念でしたが、おかげさまで合格しました。ロータリアンの皆様からのご支援をいただき、私はアルバイトをせずに、全力を尽くして受験準備できました。支援してくださっている皆様に心から感謝の気持ちを表したいと思います。これからは博士後期課程を目指に頑張ります。

王君香（三郷中央RC）

他にもたくさんの米山奨学生、学友から感想文がありました。紙面の都合で以上の皆様の感想文の一部を紹介させて頂きました。

中国にいる多くの人々は日本のことはよくわかっていなくて誤解する人が多いです。

浦和ロータリークラブ会長
相川宗一様
（前さいたま市長）

1問1答シリーズ⑤

●今回は、我が地区で一番の歴史があり、会員数も一番の名門クラブ、浦和RCの相川宗一第59代会長にインタビューさせて頂きます。
●相川会長は皆さんご存じのように、前さいたま市長で、さいたま市名誉市民です。政令指定都市の市長（人口第9位）が、退任されてからRC会長になられたのは全国でも前例がないことだと思います。
●政治家の仕上げの活動が、ロータリーでの《奉仕を通じて平和を―》「さすが相川さん！」、とても素敵なことだと思います。

月信担当副幹事・吉田英一（鳩ケ谷RC）

インタビュアー
吉田英一（鳩ヶ谷RC）

■三代続けて浦和RC会員ですが、RCとの出合いは？

祖父・宗次郎、父・曹司ともに浦和RCの会員でしたので、子供の頃からRCになじんでいました。
祖父と四万温泉へ行った折、渋川RCにメーキャップに出かけた時、**「名前を呼ばれたら『ヒヤー（I am here）と言え」**、と言われたのが、幼い私とロータリーとの最初の出会いでした。
その後RCの青少年交換プログラムがはじまり、私の家でも弟がアメリカへ行き（その頃は相互の家庭ごとの交換でしたので）、向こうからはお嬢さんをお預かりしました。ところが彼女がホームシックにかかり、勤めていた会社に電話がかかって来て、おぼつかない英語で必死に慰めたのも思い出です。

■ご自身のロータリー歴は？

1980年12月（埼玉県議会議員補欠選挙当選直後）、浦和東RC入会しました。1991年、浦和市長に当選後は浦和市内各クラブ名誉会員になりました。退任して2009年に浦和RC入会し、今年、浦和RCの会長になりました。

■入会して良かったことは？

長い間政治に掛かり切りになっていたので、ある意味で浦島太郎的なところもありました。RCに入会したお陰で、早く現実に復帰できた部分もあったかと思います。そして昔からの多くの友人とまた仲間として付き合えることが良かった。

■浦和RCの増強の秘訣は？

声を掛けて断られることを恐れず一人で多くの方を誘うことです。そして一度誘ったらフォローを忘れずに行うことです。
会員の属している他の団体（グループ）に出席した時は、適格者はいないかともう一度探してみます。

■退会しようと思った事は？

もちろんない。

■行政の長とロータリーの会長相通じる所はございますか？

行政の長の人気は1期4年、RCの会長は1期1年。それだけ行政課題は短期では成し得ないものが多く、駅周辺再開発事業は20年～30年、道路を新規に通すには用地買収から40年かかることもあります。
このように任期の長短はありますが、長のリーダーシップの下に一丸となること。また、長がきちんとビジョンを持つことだと思います。
唯RCは会員みんなが長に協力する姿勢ですが、政治の世界は反対勢力も多く、仕事を進めるにはより困難性があります。

■行政を離れ、ロータリーならではの活動をお考えですか？

ロータリーの認知度を上げること。

ロータリーの社会的地位を上げることですね。

二つとも会員増強に繋がります。

■市長時代に遣り残した事は？

これからは財政的に難しい局面を迎えることを予想して企業誘致と観光に力を入れました。
鉄道博物館の誘致と大宮盆栽美術館はできたのですが、もう一つ、岩槻に人形会館を造り、浦和のうなぎと共に観光の目玉にしたかったです。
その他再開発事業では、大宮駅周辺東西再開発や地下鉄7号線の延伸が挙げられます。また、教育環境の整備には全力を注ぎ、小学校へのガードマン配置、小中全教室への冷暖房完備、図書館への司書配置、中三までの医療費無料化等を実現して参りました。学校耐震工事が完成しなかったことは残念です。

■名誉市民とは、具体的にはどのようなお役目があるのです？

成人式や戦没者追悼式等、市の公式行事への出席です。

■ルールをどう思いますか？

潔くて良いと思いますよ。
但し、現会長・直前会長・次年度会長は良く連絡をとり、単年度ではなし得なかった事業や継続すべき事業について協議すべきだと思います。

■親子三代同じ市の市長。幼い頃から政治家を志したのですか？

県庁所在地の市長としては親子三代というのはギネスブックものかもしれません。
幼い時に政治家を志したことはありませんが、祖父、父とも政治家でしたから、政治や選挙がいつも身近にありました。
私は県会議員補欠選挙の立候補から政界に入りました。この時は先輩議員の参議院への転出、もう一人の方の急逝で補欠選挙があり、急でしたので知名度のあった私が推されました。めぐり合わせを感じます。
尚、祖父も父も浦和市長を努めた後RCに入会していますので、私にとっても市長退職後に入会することは、ごく自然の成り行きでした。

■家業は米穀商とお聞きしましたが、創業はいつ頃ですか？

明治の初めに県庁が開かれ、俸給生活者が生まれ米屋が必要となり始めたようです。米屋としては私で4代目。相川家としては12代目です。

■レッズとアルディージャ、同じ市に2つのJクラブ。ファンとしてはどうなさいました？

市長時代は双方の後援会長でした。自宅は旧中山道に面していますのでテラスに双方の旗を掲げていましたが、通行する人には随分不思議がられました。在任中、レッズに駒場スタジアムを、アルディージャにはナックファイブスタジアムを造り、平等に応援したつもりです。もちろん今は原点に帰っています。

■座右の銘は何かございますか？

「我以外皆我師」

■最後に、田中ガバナーに一言！

健康に留意して、最後まで頑張ってください。

公式訪問 どんどんレポート

7/25 八潮イブニングロータリークラブ

7月25日（水）田中徳尚ガバナー、第9グループ布施雅章ガバナー補佐を迎えて、第9グループトップの公式訪問を開催致しました。

例会前の懇談会では会長、幹事、次年度会長を交え会員増強、国際ロータリー2011～14年度準会員試験的プログラムの進展状況をお話をし、ご指導頂きました。

例会では、会員夫人も出席をしまして、行われ、田中作次R－会長年度の活動計画をプロジェクターで分かりやすくご指導を頂き、クラブ協議会では、各委員長の年度計画、活動方針を発表し、総括の講評を頂き、良い公式訪問クラブ協議会になったと感謝しております。

田中ガバナー、布施ガバナー補佐には長時間にわたり、ご指導頂き心より厚く感謝申し上げます。

9/4 大宮北東ロータリークラブ

ガバナー田中徳尚様、第4グループガバナー補佐　加藤和正様をお迎えし、会員・現年度米山記念奨学生　周雪佳さん・現在イギリスに留学中であり一時帰国している2010、2011年度米山学友の周浩さん出席の中、公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会、例会、クラブ協議会と長丁場でしたが、映像を駆使され非常にわかりやすくご指導を戴きましたが、一貫して田中ガバナーの当クラブに対する応援・サポートの気持ちが溢れていた事が印象的でした。特に少人数でも、正しく・活発に活動していく事。クラブの「風」作っていき、クラブへの愛着を持つ会員を一人でも増やす事により、更なる発展を目指す。との励ましを戴いた事が、非常にありがたく、活力になりました。有意義な時間をありがとうございました。健康にご留意され、益々のご発展を祈念致します。

最後になりましたが、パソコンの設定など設営にご協力戴きました地区副幹事　増井千恵子様に御礼を申し上げ、報告と致します。

9/4 三郷中央ロータリークラブ

9月4日、大宮北東RCの訪問を終えてから田中ガバナーの公式訪問を受けました。17時から18時迄会長幹事、並びにエレクトとの懇談、会員との会食の後18時30分からR－田中作次会長の紹介と方針、地区の取り組みなど映像を交え分かりやすくお話しになられ、クラブ協議会では各委員長の発表に耳を傾けられ的確な御講評をいただきました。

その後、22時迄、各会員と膝を交えて懇親を深められ、今年のガバナーは今迄で一番！の声で持ち切りでした。

公式訪問 どんどんレポート

9/7 八潮みらいロータリークラブ

2012年9月7日　この日は我々、八潮みらいロータリークラブ会員一同にとって、生涯忘れる事が出来ぬ日になりました。田中徳尚ガバナー、布施雅章ガバナー補佐をお迎えして、合併後初めての公式訪問を開催致しました。

また、公式訪問後には合併認証状伝達式を開催するという、過去に例の無い日程での開催です。今後、このような公式訪問をするクラブは出てこないでしょう。

田中ガバナー、布施ガバナー補佐、ご指導、そして大変有意義な一日をありがとうございました。会員一同心より感謝申し上げます。

9/11 鴻巣ロータリークラブ

残暑厳しい9月11日に田中徳尚ガバナーと、鴻巣クラブ会員でもある福士満ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。

最初に今年度佐藤会長、武渕幹事そして福島会長エレクトの3名との懇談会が行われ、鴻巣クラブの現況特に会員増強に関して、和やかな雰囲気のもと大変有意義な意見交換を行うことが出来ました。

例会では田中ガバナーのビジュアルを利用した、今年度R－方針、リスボン国際大会参加要請などの卓話を頂きました。またガバナーより3名の会員に新会員スポンサーのバッジを直接付けて頂きました。

例会後のクラブ協議会では、各委員長の今年度方針、計画及び実施方法の発表に対して、大変分かりやすくご助言、ご指導を頂きました。協議会終了後、懇親会の代わりにコーヒーとケーキを召し上がって頂きながら、さらにロータリーに関しての事やリスボン国際大会参加への事などのお話を聞かせて頂きました。

以上、大変有意義な公式訪問でした、田中ガバナー、福士ガバナー補佐誠に有難うございました。最後に今年度の公式訪問に際し、鴻巣ロータリークラブ会員100%出席でお迎えしましたことをご報告申しあげまして終了させて頂きます。

9/12 越谷北ロータリークラブ

9月12日、田中徳尚ガバナー、関森初義ガバナー補佐をお迎えし公式訪問例会を開催いたしました。当日は全員出席例会を目標に出席会場委員会が中心となり、早くから全会員に出席を呼び掛けを致しました。

例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクト、副幹事、同席のもと和やかにクラブの現状を御指導頂きました。ガバナー卓話ではプロジェクターを使って運営方針を詳細に説明して頂きました。

その後、クラブ協議会に移り各委員長の事業計画の発表と説明を熱心にお聴き頂き、説明後にガバナーから講評を頂き、最後に関森ガバナー補佐から講評を頂き、無事公式訪問が終了しました。

田中ガバナー、関森ガバナー補佐、大変お疲れ様でした。

公式訪問 つぎつぎレポート

9/13 鳩ヶ谷ロータリークラブ

9月中旬とは言え酷暑と言える暑さの中、グリーンセンター内シャトー赤柴に田中徳尚ガバナー、髙野好勝ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。例会に先立っての懇談会は、会員増強、財団、米山に懸けるガバナーの熱い気持が、1時間半の時をあっと言う間に駆け抜けて行きました。

昼食後の例会後半のガバナー卓話は、田中作次R－会長との協調を強く語られ、その後のクラブ協議会に於きましては、各委員長の多種多様な問いに的確かつ有意義な助言を賜り心より御礼申し上げます。今後の当クラブの活動に大きな一石を戴いた一時でありました。

これからの10カ月もお体に十分ご自愛戴きご活躍ご指導賜りますようお願い致します。有難う御座いました。

9/13 浦和中ロータリークラブ

田中徳尚ガバナー・國光勝三ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。浦和中ロータリークラブは夜間例会のクラブですので、午後5時にガバナーとの面談が行われ、ガバナーから増強のことや財団の寄付、クラブの事業のことなど大変丁寧なアドバイスをいただきました。

そして午後6時30分からの例会では当クラブのセレモニーに引き続き、ガバナーから卓話を戴きました。卓話の中で特に田中ガバナーを駆使して各クラブの会員数の推移をグラフで紹介し、会員減少の危機感などを大変わかりやすく説明していただきました。そして最後にリスボンの国際大会の紹介をしていただき、当地区から300名で国際大会に参加しようと呼び掛けられました。

クラブ協議会では各委員長から年度の計画・報告そして活発な意見や建設的な質問がなされ、ガバナーもそれに対して大変丁寧に、いろいろな例を参考にされて熱のこもったご指導いただきました。当クラブの会員増強への取り組み、各事業への取り組みなど大変評価していただきました。私ども浦和中ロータリークラブとしても大変素晴らしい時間を過ごさせていただきました。あらためて田中ガバナー・國光ガバナー補佐に感謝申し上げます。

9/18 春日部ロータリークラブ

拍手の中、ガバナー入場より公式訪問例会は始まる。R－地区テーマを踏まえたクラブテーマ「ロータリーらしさの追求」「らしさ」を求める会長挨拶。財団褒賞・米山褒賞者　各5名、小山清新会員と推薦者にガバナーよりバッヂの授与。ガバナー卓話では、田中作次R－会長が「奉仕を通じて平和を」を発表すると、会場は歓声と拍手が鳴り響き渡った。そして、詳細なる目標・戦略の解説。クラブ協議会では、各委員長から創立50周年に向けての目標・活動、補助金の積極的活用、財団・米山ともに寄付目標は達成などの報告。ガバナーから集団メーキャップの企画、40名のクラブでこれだけの事業をやっているのは素晴らしい、これらをホームページ等に残すようになどのご教授。ガバナー補佐総評にて終わる。

懇談会、公式訪問例会、クラブ協議会と長い一日でしたが、それ以上に有意義な一日でした。田中ガバナー、真野ガバナー補佐、小倉副幹事に感謝申し上げます。

公式訪問 ぼんぼんレポート

9/19 大宮東ロータリークラブ

田中ガバナー、加藤ガバナー補佐、阿部地区副幹事には過密スケジュールをおしてのご来訪に厚く御礼申し上げます。

懇談会やクラブ協議会を通して会員増強・職業分類・CLPなどクラブ運営について多岐にわたり的確なご指導を頂き、有意義な一日を過ごすことができました。

ガバナーの熱意に会員一同感激を覚えますと共に、これらを今後のクラブ運営に生かして参ります。改めて深く感謝を申し上げ報告といたします。

9/19 大宮シティロータリークラブ

田中徳尚ガバナーそして第3グループ斉藤博一ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が開催されました。同じ第3グループの公式訪問が、昼間開催されており、続いて夕方当クラブの公式訪問というハードスケジュールの中でしたが、とてもエネルギッシュな印象を受けました。

懇談会に始まり、クラブ協議会、例会、そして懇親会。クラブ協議会では、各委員会の事業計画につきましても的確な助言を頂き、今後の奉仕活動に活かしていきたいと思います。例会卓話では、今年度のR－戦略計画の優先項目等をプロジェクターで映しながら熱く語られ、会員一同大変勉強になりました。

今回の公式訪問で田中徳尚ガバナー、斉藤博一ガバナー補佐の当クラブへの期待や沢山のお褒めの言葉を頂き、誠にありがとうございました。その期待に応えられるよう会員一同身を引き締め、奉仕活動に邁進したいと思います。

9/20 戸田西ロータリークラブ

巣鴨信用金庫戸田支店の例会場において、ガバナー田中徳尚公式訪問を開催致しました。

11時よりガバナー、第12グループ溝上西二ガバナー補佐そしてクラブより会長、幹事、会長エレクト同席のもと面談が行われました。クラブの特徴、現状と活動状況を説明し、ガバナーより出席率の向上、奉仕活動について大変良い評価を頂きました。

増強に対しまして戸田西RCは今年度2名の増強がありましたが、もっと目標は上におきなさいと言うご指摘を受けました。

例会ではプロジェクターを使い、今のロータリーの現状を説明して頂き、クラブ協議会では各委員会の活動報告に対し丁寧にアドバイスを頂き、和やかな公式訪問を終えることができました。クラブ会員一同心より感謝申し上げます。

公式訪問 みるみるレポート

9/25 合同 春日部南ロータリークラブ 春日部イブニングロータリークラブ

春日部イブニングと春日部南の、初めての試みで合同公式訪問を執り行いました。2クラブは、同例会場なので会員同士もほとんど知り合いで、誠にスムーズに行きました。事前の打合せは、真野ガバナー補佐の御指導のもとで数回行いました。ただ、リハーサルは各々のクラブで行ったので、今後はリハーサルも合同の方がよりスムーズに進行した事と思います。

又、時間的には少々たりなかった感じが致しました。大変良かった事は、他クラブの活動状況が良くわかった事で、今後是非合同公式訪問を行なってもらいたいと思います。

（春日部南RC）

創立以来、初めて、合同（春日部南RC）公式訪問例会を無事終えることが出来ました！！

田中ガバナーの温かい助言と適格なご指導を頂き、会員数20名の少数会員のクラブですが、坂寄会長を先頭に、事業や目標が達成できますように、一歩一歩、歩んで行きたいと思います。ロータリアン皆様の温かい友情と、ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

（春日部イブニング）

9/27 合同 草加南ロータリークラブ 草加中央ロータリークラブ 草加松原ロータリークラブ

田中徳尚ガバナー、布施ガバナー補佐、小倉地区副幹事、大塚補佐幹事をお迎えして、草加市内3クラブ合同公式訪問が9月27日18時より草加文化会館レセプションホールにて開催され、午後4時より各クラブの会長、幹事の面談があり、草加松原・草加南・草加中央と進んでいきました。田中ガバナーの面談は、優しさ、ロータリーへの思いが伝わる気がしました。人数が少ない、予算がない、高齢化、そんな言い訳ではなくクラブの良さ、特徴を十分把握し、生かし、さらにロータリーを勉強し経験を積み上げていく様にと、そんな事を教えて頂いた気がします。

例会は、各クラブ会長・幹事で進行し、令夫人も参加して頂き何時にない緊張した例会でした。田中ガバナー、布施ガバナー補佐の益々のご活躍とお体を大切に心よりお祈りいたします。（草加南）

9月27日（木）に草加市文化会館におきまして、草加松原RC、草加南RC、草加中央RCの3クラブ合同ガバナー公式訪問例会が開催されました。16時から各クラブの会長幹事と田中徳尚ガバナー並びに布施雅章ガバナー補佐との懇談会に始まり、全員での記念写真撮影、例会、3クラブ会員との懇談会へとスムーズに進行することができました。会員令夫人も4名参加しガバナーも大変喜ばれましたが、当日に新会員入会式が出来なかったことが、幹事として唯一心残りとなりました。（草加松原）

公式訪問 ばんばんレポート

9/20 大宮南東ロータリークラブ

残暑がまだ大変厳しいお彼岸入りの9月20日（木）、昼他クラブ、夕方大宮南東ロータリークラブへ。本日2度目の公式訪問の田中ガバナー、我が第3グループの昨日から連続公式訪問中斎藤ガバナー補佐、夕方でも30℃の大変厳しい暑さの中、夜20時まで大宮南東ロータリークラブ例会場アウルホテル大宮において大変熱心な例会時間を過ごしました。

そして少人数クラブの例会運営のあり方など、人柄あふれるガバナー助言がありました。大変有意義な一日であった事が、一週間後の例会において発揮され、又今後も進めたいと思います。

田中ガバナーは公式訪問終了後にすぐ車で長野県蓼科の方に車で向かいましたが仕事でしょうね。仕事も疲れを知らない元気あふれる活力で、さすがガバナーとこちらも感動しました。

9/26 蓮田ロータリークラブ

9月26日10時55分、田中徳尚ガバナー自ら車を駆って例会場にご到着。車のトランクよりパワーポイント機材等、多くの資料を持ち込まれる。

さっそく梨本ガバナー補佐、古塚会長エレクト、野村幹事を交えての懇談会が始まる。事前提出の資料を基に、和気あいあいの中にも鋭い指摘、ご指導を受け、瞬くうちに例会開始時間となる。例会では田中作次R－会長の本年度の方針に沿って、地区の活動方針「ロータリーで新しい出会いを」を多くの例を元に説明された。特に力を入れている会員増強では、近藤委員長に直々に増強促進バッジ渡され、その任を鼓舞された。また、例会に出席していた蓮田松韻高校のインターアクト生徒に、ボランティア認定書を授与する労をとられた。当クラブの年次計画書を手に取り「これが印刷からすべて、クラブ手作りとは驚き、計画書コンテストがあれば必ず上位入賞でしょう」とお褒めの言葉をいただく。例会に次いでのクラブ協議会では各委員長の発表に対し、的確にわかりやすく助言、講評を頂いた。

田中ガバナーの公式訪問により当クラブ全員に、これからまた新たな出発の意気込みが生まれた。

10/2 蕨ロータリークラブ

10月2日（火）、田中徳尚ガバナー、溝上西二ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が開催されました。例会に先立ってのガバナー・ガバナー補佐・会長・会長エレクトの懇談の中では増強、ロータリー財団、米山記念奨学会についての使命が語られ、当クラブの状況をも含めて熱心な懇談会を持つことができました。

ガバナーの卓話では、ユーモアを交えながら今年度のR－テーマと地区活動方針並びに地区運営方針を説明していただき、会員全員が再認識しました。その後のクラブ協議会では運営関連毎の委員会の発表の後に講評していただきました。2年後に創立50周年を迎える当クラブに、会員が共有するプロジェクトを立ち上げ、長期計画を定める努力をし、会員が共通意識の下でクラブ運営をし、増強については大きな目標を掲げて取り組むというアドバイスを頂きました。これからの活動に反映させていきたいと思います。

最後に溝上ガバナー補佐に講評していただき閉会となりました。ガバナーのご厚意に感謝し、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

有難う御座いました。

●9月29日（土）に交換留学生の帰国報告会を開催

一枚目は今年度の派遣候補生、二枚目は帰ってきたばかりの新ローテックスの写真です。行く人はまだ固いつぼみで、帰って来た人はガゼン弾けてマス。
（写真提供／ローテックス
梅津佑理恵、斎藤玲奈）

報告会の様子

●研修リーダーセミナー開催される

10月12日18時より、浦和パルコ会議室にて開催されました。約80人の参加者がありました。

●「百歳百人の顔」写真展

久喜菖蒲RC主催

直前会長の林明氏が3年以上かけて撮影した107人の、百歳を越えたお年寄りとそのご家族の写真展。笑みがこぼれてくる写真。目頭が熱くなってくる写真。手を合わせたくなるような写真…。林さん、本当に素敵な写真をありがとうございました。この写真展、10月11日のNHKテレビでも紹介されました！

●北RI理事の就任祝賀会開かれる。

10月5日、第2回諮問委員会終了後、北清治RI理事（2013～15）の就任祝賀会がロイヤルパインズホテルで開かれた。当地区からは田中作次PDG以来2人目のRI理事であり、益々のご活躍を期待しています。

●八潮みらい設立総会

八潮中央RCと八潮シティRCが合併し、八潮みらいRCが誕生。その合併認証状伝達式が、9月7日に浅草ビューホテルで開催されました。金杉光左生実行委員長、お疲れ様でした。
加藤修初代会長、合併というみらいに向かって、頑張ってください。

ロータリーのブランディングとは? 奉仕活動を記事にしてもらうための 事例研究

●ブランドとは何か？ 日本語に訳すと「信頼の証。選択の根拠」となる。
信頼される理由があり、多くの中から選ばれるワケがあるものがブランドだ。
自分の評価ではなく世間の評価。人が「良い」と言ってくれることがブランドだ。

●広告と記事、どう違うのか？ まず、有料か無料かの違いがある。
さらに、広告とは自分で、「うちの饅頭は旨いよ」というコトである。
一方記事は、人が、「あそこの饅頭は旨い」と言ってくれるというコトだ。
ブランド(価値)を上げるには、パブリシティ(無料の記事)を狙おう!

1．仕掛け方

まず新聞社やテレビ局に事前に告知することから始まる。懇意な記者をつくっておくことがベスト。

2．魅せ方

企画に、話題性がなくてはならない。ありきたりの物事だと記事にならないか、小さな扱いになる。まず世間が注目する魅力的な企画が必要だ。

←一面のトップにはカラー枠で！

3．記事の活用

記事が載ったことが分の自信になる。そして社会への信頼や実績になる。これでブランドが高まる。掲載記事は2次利用（紹介・転載）して、内外の評価をつねに高め続けることが重要だ。

4．結論

何と言ってもマスコミに事前告知をしなければ誰も気付かない。さらに、社会奉仕活動に、もう一つ話題性のある価値を乗せると相乗効果が出る。[社会的に重要度の高いものに仕立てて魅せる！]ということだ。
手前味噌はNG。ありきたりのモノもニュースにならない。参加した市民の評価の声も大切だ。

←四段ブチ抜きの記事。大きさはA4サイズくらいある。二木屋だけではここまで大きく扱われない。

解　説

1.これは二木屋新能に米山奨学生を招待した出来事の新聞記事だ。
2.この新能は、最初から新聞社が取材に来てくれることになっていた。何故か？　情報を提供したからだ。その情報とは下記の3点である。

●国登録有形文化財の古い建物で、●日本で最小の薪能が行われる。●57回も続き、関東では最多上演回数。ギネスを目指している。などの話題性が記者の興味を引いた。
3.ここに「米山奨学生を招待する」という話題をさらに乗せた。すると価値がグンと高まった。付加価値が付き、相乗効果になったのだ。

●登録有形文化財の建物
●日本最小の薪能
●ギネスを狙う上演回数
＋
●ロータリーという奉仕の団体
●米山奨学生の特性（里親制度など）
●世界（外国人）と日本（能楽）の対比
●古典と若者との対比

■こうした相乗効果で報道価値を高め、大きな扱い（1面のカラーと、中面のA4大）の記事を獲得した。
■これは、価値に価値を乗せるとどの位、記事の扱いが変わるのかという一つの実験にもなった。
■こういう仕掛けを、大企業では専門セクションでやる場合が多い。これをパブリシティ戦略（パブ打ち）と呼んでいる。これからのロータリーに必要な戦略であると思う。
■これは薪能の売れ残った席を使ったので、さほどコストはかかっていない。（空で飛行機を飛ばさないという考え）。コストは二木屋が持ったけれど、田中ガバナーと中里部門委員長もお手伝いをしてくださった。（二木屋主人・小林）

文庫通信【301号】

●地区大会の講演と新着資料より

◎「ロータリーと戦略計画」
三木 明　2012　6p (D.2720)
◎「ロータリーの進化について」
重田政信　2012　8p (D.2790)
◎「ロータリーの心と原点」
廣畑富雄　2012　10p (D.2740)
◎「善き仲間と共に」
中村靖治　2012　6p (D.2740)
◎「ロータリーの心を学ぶための教育の場にもう一度作り変えていく」
上野 孝　2012　6p (D.2740)
◎「私が歩みし職業奉仕」
藤川享胤　2012　13p (D.2670)
[上記申込先：ロータリー文庫]

◎「日本ロータリーの曙」
田中毅　源流の会　2012　63p
[申込先：田中毅
FAX(06)6491-9899]

◎「発達障害はどこでつまずくのか Vol.3 DVD」D.2680　201
[申込先：D.2680
FAX(078)304-2681]

●10月15日地区大会記念ゴルフ大会開かれる。

10月15日、素晴しい晴天に恵まれて、参加者261名で開催されました。皆様のご協力で、より一層の東日本大震災及びポリオ撲滅の支援ができそうです。
優勝は久喜菖蒲の平澤会員。賞品も被災地からの特産物！
おめでとうございます！
（主催／鳩ヶ谷RC　吉田）
（写真は優勝の平澤道男会員）

西ノウト:2・3・4・5・7・8　西イン:10・11・12・14・15・17
東アウト:1・2・4・6・7・8　東イン:10・11・12・15・17・18

順位	氏　名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	平澤　道男	48	45	93	24.0	69.0
準優	大月　正雄	48	40	88	18.0	70.0
3	小林　孝裕	38	36	74	3.6	70.4
4	渡部　正司	44	50	94	22.8	71.2
5	山崎　哲男	42	39	81	9.6	71.4
6	横山　正一	42	39	81	9.6	71.4

順位表

月信発行日変更のお知らせ　月信12月号は、地区大会特集を予定しております。
大会終了日（11月18日）以降の編集作業がありますので、発行日を12月10日にさせて頂きますのでご了承ください。

【お詫びと訂正】10月号の会員情報に誤りがありました。財団寄付をして頂いた上尾西RCの土岐和裕会員の所属クラブを蓮田RCと誤記してしまいました。お詫びして訂正申し上げます。

長沼　大策
上尾
平成24年10月4日
(株)ビー・ウィッシュ
広告代理業

石塚　明
大宮西
平成24年10月1日
メディカル・ケアサービス(株)
サービス業

林　利夫
春日部西
平成24年8月9日
みくに中央クリニック
病院事務

福井　大樹
川口
平成24年10月4日
TAIYO(株)
通信機器販売

高橋　真貴子
大宮西
平成24年10月1日
(株)アップル
サービス業

平岡　雅康
春日部西
平成24年8月9日
アイアール(株)
ブランド品仕入・販売

出沖　幸雄
川口
平成24年10月18日
(株)OKIプランニング
不動産業

鈴木　靖則
川口東
平成24年10月2日
靖建築事務所(有)
サービス・建築士

高橋　一好
大宮シティ
平成24年8月29日
レイズ建築設計室
建築設計

柳沢　裕二
川口
平成24年10月18日
大和ハウス工業(株)
建築業

藤本　仁
浦和ダイヤモンド
平成24年10月3日
(株)近江屋
商社

松澤　勝広
八潮みらい
平成24年9月7日
(有)勝建
総合建築

訃報

橋本　真一
浦和ダイヤモンド
平成24年10月3日
橋本真一税理士事務所
税務

関　雄二郎
越谷北
平成24年9月12日
(株)エスケーハウジング
住宅リフォーム

大熊　賢三郎
川口東
平成24年9月6日
享年　87才

小林　三石
浦和ダイヤモンド
平成24年10月3日
関東キタック販売(株)
遊技機販売業

髙橋　陽一
越谷北
平成24年9月12日
(株)髙橋設備
空調・冷暖房・換気設備

つつしんで
ご冥福を
お祈りいたします。

伊藤　健治
浦和中
平成24年10月4日
(株)ウィステリア
飲食業

神谷　英樹
春日部イブニング
平成24年9月25日
(株)サンブツ
運送業

米山功労者

齋藤　守毅
大宮
平成24年9月27日

米山功労者マルチプル (3)

根本　定一
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (7)

松永　兼冶
岩槻
平成24年9月10日

米山功労者メジャードナー (10)

清村　忠雄
越谷東
平成24年8月7日

米山功労者

岡村　睦美
川口
平成24年9月28日

米山功労者マルチプル (3)

小野　ソノ子
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (6)

小島　喜久雄
春日部
平成24年9月3日

米山功労者メジャードナー (10)

駒崎　繁夫
戸田西
平成24年9月25日

準米山功労者

平井　真実
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (2)

本橋　日出夫
川口モーニング
平成24年9月11日

米山功労者マルチプル (6)

島村　健
上尾
平成24年9月20日

米山功労者メジャードナー (10)

永嶋　良一
大宮
平成24年9月27日

準米山功労者

宮田　聰
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (2)

齋藤　博重
上尾
平成24年9月20日

米山功労者マルチプル (6)

渋谷　廣慶
大宮西
平成24年9月25日

米山功労者メジャードナー (10)

野崎　昌雄
川口中央
平成24年10月4日

準米山功労者

千葉　浩
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (2)

真木　吉夫
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (6)

名倉　勇
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (9)

古川　益好
八潮
平成24年9月26日

新会員19人

嶋田　悟志
川口・鳩ヶ谷武南
平成24年8月1日
(株)ピュアホームズ
介護

米山功労者

海老原　光男
春日部
平成24年9月12日

米山功労者マルチプル (5)

大塚　崇行
上尾
平成24年9月20日

米山功労者マルチプル (8)

吉村　雅男
浦和東
平成24年8月31日

米山功労者

園部　博士
春日部
平成24年9月6日

米山功労者マルチプル (4)

金宮　文化
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (8)

島根　常二
越谷東
平成24年9月25日

米山功労者

鈴木　勇
吉川
平成24年9月26日

米山功労者マルチプル (4)

山田　宗一
大宮東
平成24年10月5日

米山功労者マルチプル (7)

田村　晃佑
春日部
平成24年9月3日

ベネファクター

海老原　光男
春日部
平成24年9月3日

M・P・H (1)

梶間　順子
浦和中
平成24年8月31日

M・P・H (2)

佐々木　直之
大宮北東
平成24年8月1日

M・P・H (3)

寺門　孝彦
春日部
平成24年8月9日

M・P・H (5)

島根　常二
越谷東
平成24年9月25日

M・P・H (8)

國光　勝三
浦和東
平成24年8月31日

ロータリー財団

ベネファクター

田口　雅弘
岩槻
平成24年9月10日

M・P・H (1)

永嶋　幸男
春日部
平成24年9月19日

M・P・H (2)

遠藤　修一
川口
平成24年9月20日

M・P・H (3)

利根澤　正之
浦和東
平成24年8月31日

M・P・H (4)

井上　亮
幸手中央
平成24年9月27日

M・P・H (7)

三澤　春樹
上尾北
平成24年8月10日

大口寄付 ($1,015,976)
ポリオ・プラス、平和センター基金

田中　作次
八潮
平成24年9月5日

ベネファクター

佐藤　美好
浦和中
平成24年9月26日

P・H・F

竹中　一夫
上尾北
平成24年8月10日

M・P・H (2)

川鍋　秀雄
庄和
平成24年9月27日

M・P・H (3)

有泉　勝之
浦和中
平成24年8月31日

M・P・H (4)

松本　和孝
上尾北
平成24年8月10日

M・P・H (7)

中村　昇
越谷東
平成24年9月20日

大口寄付 ($216,156,21)

北　清治
浦和東
平成24年8月31日

ベネファクター

小林　玖仁男
川口
平成24年9月20日

P・H・F

松本　博史
浦和中
平成24年8月31日

M・P・H (2)

坂下　利夫
浦和中
平成24年8月31日

M・P・H (3)

小幡　幸一
八潮
平成24年9月12日

M・P・H (4)

平田　利雄
浦和東
平成24年8月31日

M・P・H (7)

山森　喬夫
川口北
平成24年9月25日

大口寄付 ($28,487.16)

西　幸治
川口
平成24年9月28日

米山奨学会

P・H・F

横田　松博
浦和中
平成24年8月31日

M・P・H (2)

下重　喜平
浦和中
平成24年8月31日

M・P・H (3)

会田　信男
八潮
平成24年9月19日

M・P・H (4)

田口　武
春日部
平成24年9月3日

M・P・H (6)

斉藤　芳男
春日部
平成24年9月6日

大口寄付 ($14,200)

石井　治
春日部
平成24年9月12日

米山功労者メジャードナー (24)

石井　治
春日部
平成24年9月6日

P・H・F

宮田　一雄
庄和
平成24年9月27日

M・P・H (1)

小暮　昭弘
大宮北東
平成24年8月1日

M・P・H (3)

高柳　国男
八潮
平成24年9月19日

M・P・H (4)

田村　晃佑
春日部
平成24年9月3日

M・P・H (6)

林　正
大宮西
平成24年9月25日

大口寄付 ($13,589.35)

藤原　忠雄
川口北
平成24年9月25日

米山功労者メジャードナー (22)

西　幸治
川口
平成24年9月28日

P・H・F

青田　真芳
幸手中央
平成24年9月27日

M・P・H (1)

松村　繁
浦和東
平成24年8月31日

M・P・H (3)

岡田　信昭
越谷南
平成24年9月20日

M・P・H (4)

島村　健
上尾
平成24年9月20日

M・P・H (5)

大熊　信
浦和東
平成24年8月31日

大口寄付 ($12,380)

岡村　藤美
浦和東
平成24年8月31日

米山功労者メジャードナー (15)

田中　徳尚
川口
平成24年10月5日

ベネファクター

佐山　茂夫
川口
平成24年8月23日

M・P・H (1)

野口　功
浦和東
平成24年8月31日

M・P・H (3)

真野　多加史
春日部西
平成24年9月26日

M・P・H (4)

高木　康夫
幸手中央
平成24年9月27日

M・P・H (5)

松永　兼冶
岩槻
平成24年9月10日

大口寄付 ($11,070)

吉村　雅男
浦和東
平成24年8月31日

※これらは、編集締切日時点で分かった方の情報です。来月に載る方もいらっしゃいますので、予めご了承ください。